

# 守山企業景況調査報告書

(第30回)

平成29年1月～平成29年3月期 実績

平成29年4月～平成29年6月期 見通し

# 守山企業景況調査について

(平成 29 年 1 月～平成 29 年 3 月期)

## 1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 70 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax 等により回収した。

## 2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
小売業	20	17	85.0%
製造業	13	9	69.2%
建設業	12	11	91.7%
サービス業	19	17	89.5%
卸売業	6	6	100.0%
合計	70	60	85.7%

## 3. 調査期間

調査期間は、実績を平成 29 年 1 月～平成 29 年 3 月、見通しを平成 29 年 4 月～平成 29 年 6 月とし、調査時点は平成 29 年 4 月 30 日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指標として DI 指数を採用した。DI 指数とは DIffusion Index (景気動向指数) の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」の DI 指数は 3 カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

## 調査の概要

平成 29 年 1 月～3 月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果は DI 指数（景気動向指数）を用いて示している。

DI は、「増加」「好転」等の企業割合から「減少」「悪化」等の企業割合を差引いた数値である。そのため、DI が±0 の状態であれば、「増加」「好転」等の企業割合と「減少」「悪化」等の企業割合が同じであることを示し、プラスの数値であれば「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも多いことを示す。逆に DI がマイナスの数値であれば、「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも少ないことになる。

また、グラフは右肩上がりになれば良い方向に向っていると判断でき、右肩下がりになれば良くない方向に進んでいると考えられる。

平成 29 年 1 月～3 月期の調査結果では、売上高、業況、採算の主要 3 指標で前回調査より数値が低下し、資金繰りは前回調査と同じであった。

### <業況>

業況 DI は▲23.3 で前回調査の▲17.7 から 5.6 ポイント低下した。業種別では、小売業▲23.5（前回調査比+5.9）、製造業▲22.2（前回調査比▲22.2）、建設業▲18.2（前回調査比▲18.2）、サービス業▲23.5（前回調査比+1.5）、卸売業▲33.3（前回調査比+6.7）と小売業、サービス業、卸売業が上昇した。

4 月～6 月期見通しは全体で▲16.9 であり、上昇の見込である。

### <売上高>

売上高 DI は▲18.3 で前回調査より 5.6 ポイント低下した。業種別では、小売業▲23.5（前回調査比▲17.9）、製造業 0.0（前回調査比±0.0）、建設業▲9.1（前回調査比±0.0）、サービス業▲29.4（前回調査比+5.9）、卸売業▲16.7（前回調査比▲16.7）であり、サービス業だけが上昇した。

4 月～6 月期見通しは全体で▲18.6 となっており、低下の見込である。

### <採算（経常利益）>

採算（経常利益）DI は▲26.7 で前回調査より 9.2 ポイント低下した。業種別では、小売業▲29.4（前回調査比▲1.6）、製造業▲11.1（前回調査比▲11.1）、建設業▲27.3（前回調査比▲17.3）、サービス業▲29.4（前回調査比▲5.9）、卸売業▲33.3（前回調査比▲13.3）で全ての業種で低下している。

4 月～6 月期見通しは全体で▲32.2 であり、今回調査実績から低下している。

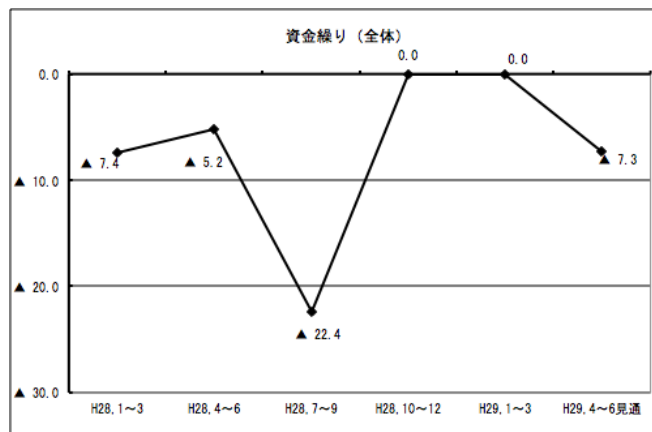
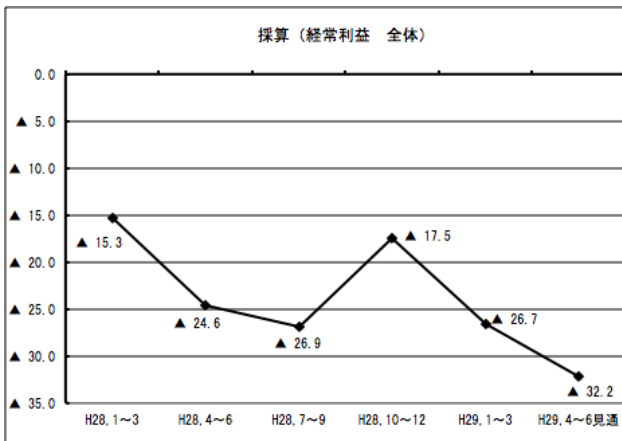
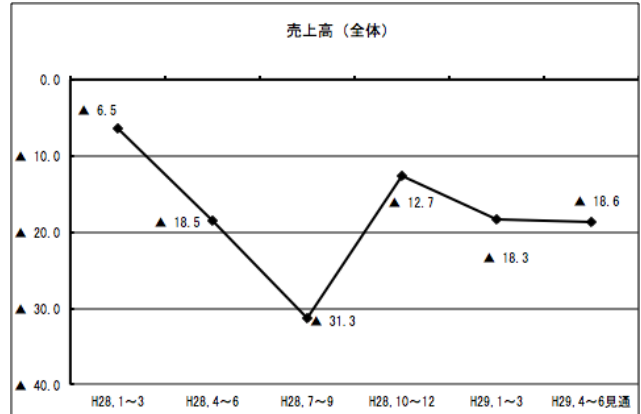
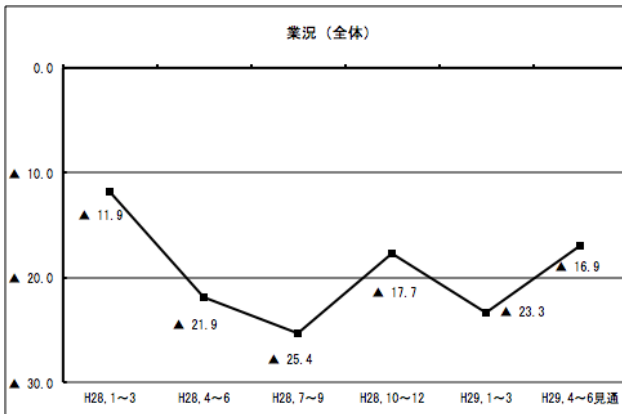
### <資金繰り>

資金繰り DI は 0.0 で前回調査と同じであった。業種別では小売業▲5.9（前回調査比▲0.3）、製造業▲12.5（前回調査比▲12.5）、建設業 0.0（前回調査比▲9.1）、サービス業 7.7（前回調査比+7.7）、卸売業 16.7（前回調査比+16.7）であった。

4 月～6 月期見通しは全体で▲7.3 であり、今回調査実績から低下している。

<その他の意見>

- ・従来の仕事では成長構造が確保できないため、違う分野の仕事を確認しないと成長を維持することができない時代である。また、少量多品種生産の対応や品質のための人的資源、機械、OA化などの合理化が必要である。



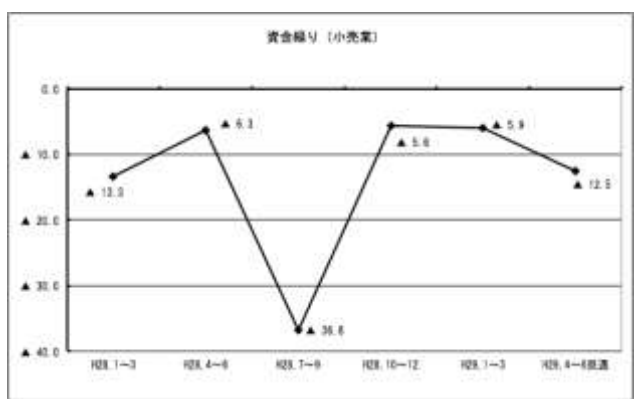
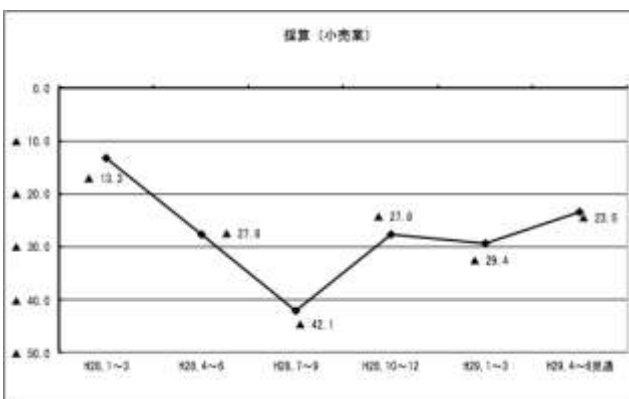
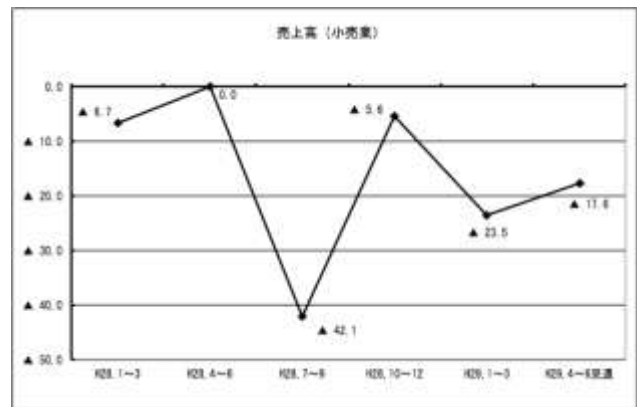
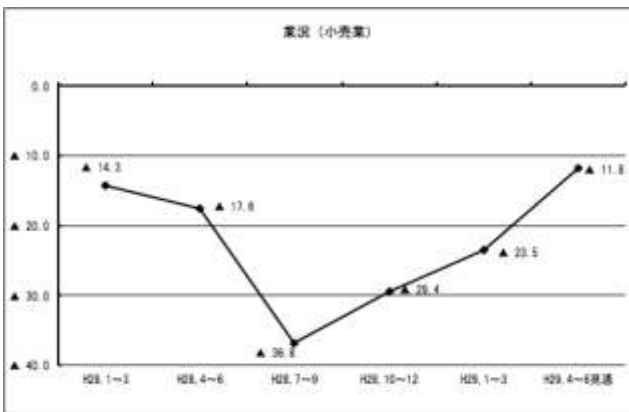
## 小売業

小売業の業況DIは▲23.5で前回調査より5.9ポイント上昇した。2四半期連続の上昇である。1年前の▲14.3と比べると9.2低い数値であるが、少しずつ回復しているように見える。4月～6月期見通しも▲11.8と上昇しており回復の基調となっている。

売上高DIは▲23.5で前回調査より17.9ポイント低下した。平成28年7月～9月期に大きく落ち込み、前回調査で大きく回復したが今回調査では再び落ち込むことになった。しかし、落ち込み幅が小さくなっていることから少なからず期待は持てると思われる。4月～6月期見通しは▲17.6で小幅な上昇である。

採算DIは▲29.4で前回調査より1.6ポイント低下した。平成28年7月～9月期の落ち込みから回復した前回調査をそのまま引き継いだようになっている。4月～6月期も▲23.5と微増である。

資金繰りDIは▲5.9で前回調査より0.3ポイント低下した。他の指標と同様に平成28年7月～9月期の落ち込みから回復し、そのまま維持しているようである。4月～6月期は▲12.5と低下している。



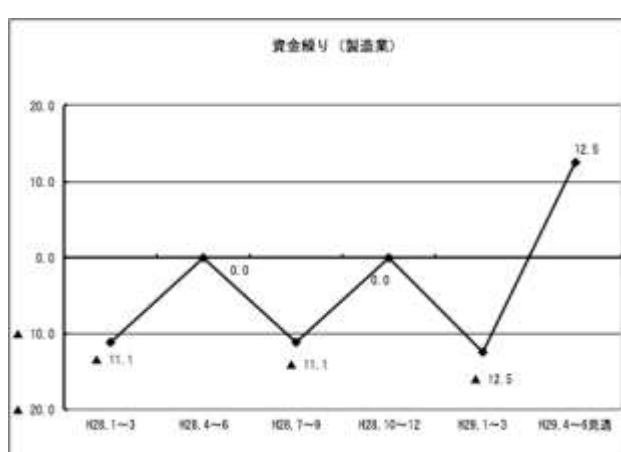
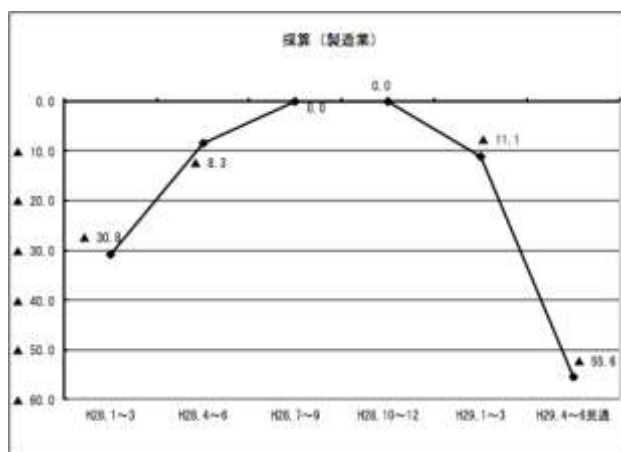
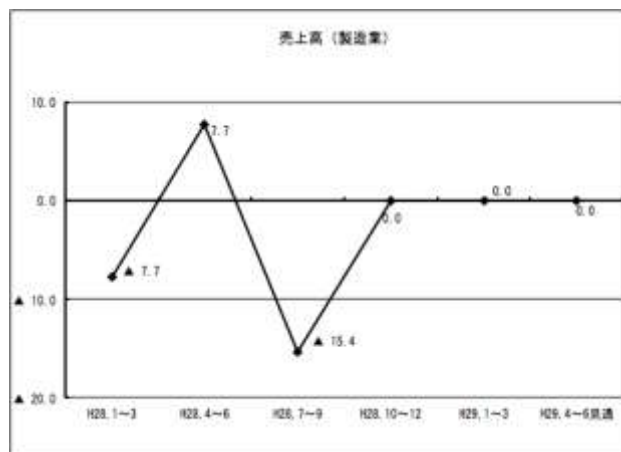
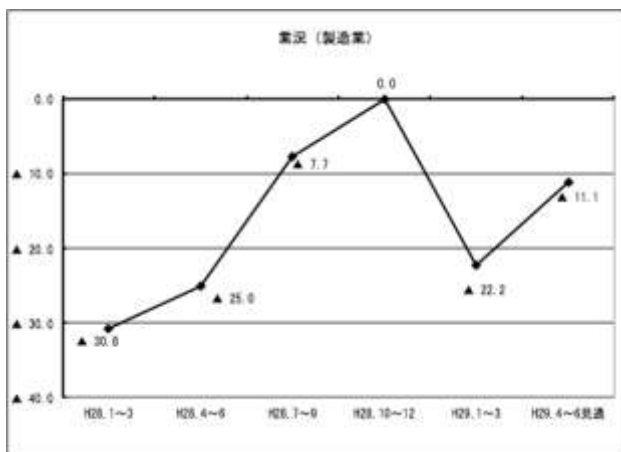
## 製造業

製造業の業況DIは▲22.2と前回調査に比べて22.2ポイント低下した。1年前の▲30.8から3四半期連続で上昇し、前回調査で0.0となったが今回調査では▲22.2と一気に低下してしまった。4月～6月期見通しは▲11.1と再び上昇しており、今回調査時点が直近の底になるようである。

売上高DIは0.0で前回調査と同じであった。2四半期連続で0.0なので製造業全体で見れば良くも悪くもならず安定していると考えられる。4月～6月期見通しも0.0という結果であるので、この傾向は少しの間続きそうである。

採算DIは▲11.1で前回調査より11.1ポイント低下した。前回調査まで2四半期連続で0.0であったので、少し悪くなっているようである。ただ、4月～6月期見通しは▲55.6とかつてないほどに低い数値が出ており、警戒が必要である。

資金繰りDIは▲12.5で前回調査より12.5ポイント低下した。資金繰りは▲11.1と0をこのところ繰り返してきているので通常の範囲の変動だと考えることができる。4月～6月期見通しは12.5とプラスになっているので、回復が見込まれている。



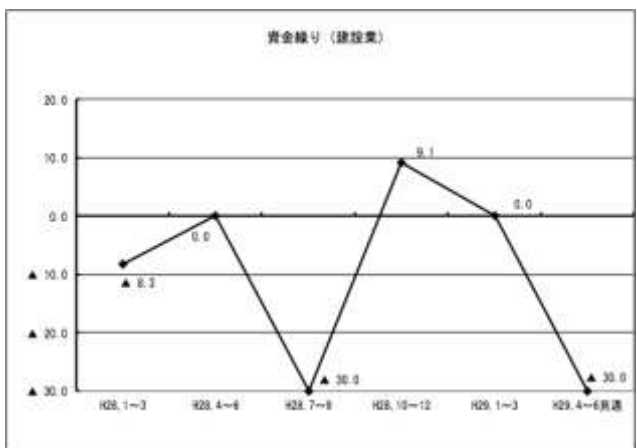
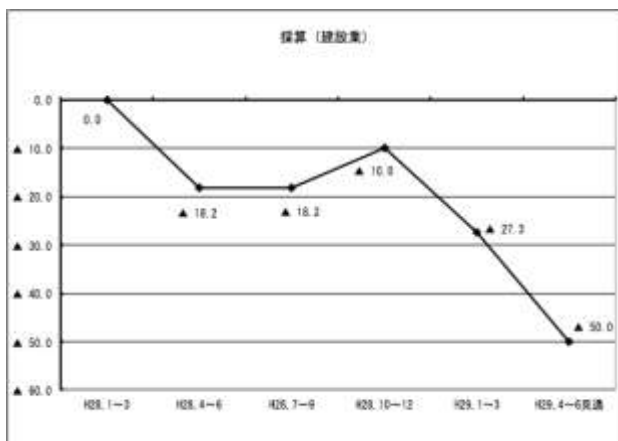
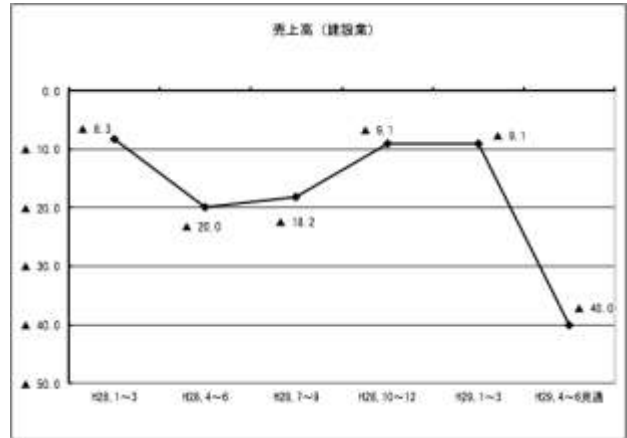
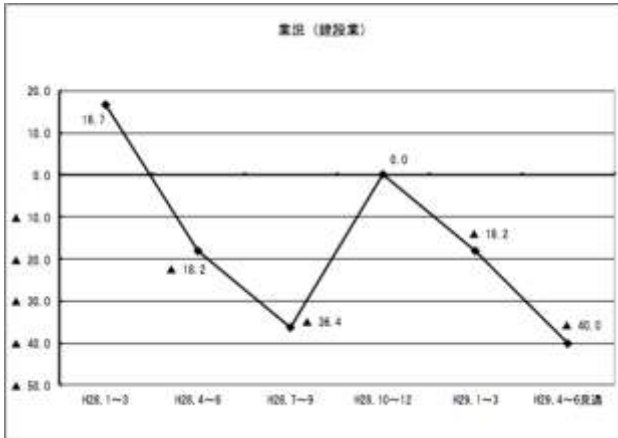
## 建設業

建設業の業況DIは▲18.2であり前回調査より18.2ポイント低下した。前回調査で0.0まで回復したが、今回調査ではマイナスになっている。1年前の1月～3月期は16.7であったので、この落ち込みは厳しいかもしれない。4月～6月期見通しは▲40.0とさらなる落ち込みを予想しており、この先夏場に向けて厳しさが増すようである。

売上高DIは▲9.1で前回調査と同じであった。この5四半期は平成28年4月～6月期の▲20.0を底に比較的安定したDIであり、今回調査もその範囲内であった。しかし、4月～6月期は▲40.0と大きく落ち込んでおり、売上高の面でも厳しい予想になっている。

採算DIは▲27.3で前回調査より17.3ポイント低下した。業況、売上高と同じような推移をしている採算DIであるが今回調査でも同じように低下することになった。ただ、採算に関しては業況や売上高よりも落ち込みが大きく採算面ではさらに厳しいようである。4月～6月期見通しは▲50.0とマイナスが大きくかなりの厳しさが予想されている。

資金繰りDIは0.0で前回調査より9.1ポイント低下した。前回調査でプラスまで回復した資金繰りDIも低下したが、マイナス数値までには至っていない。4月～6月期見通しは▲30.0で他の指標と同様に大きく落ち込んでおり、資金繰り面でも厳しいようである。



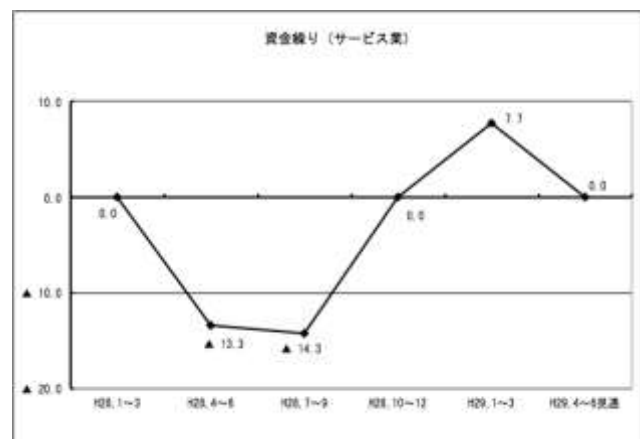
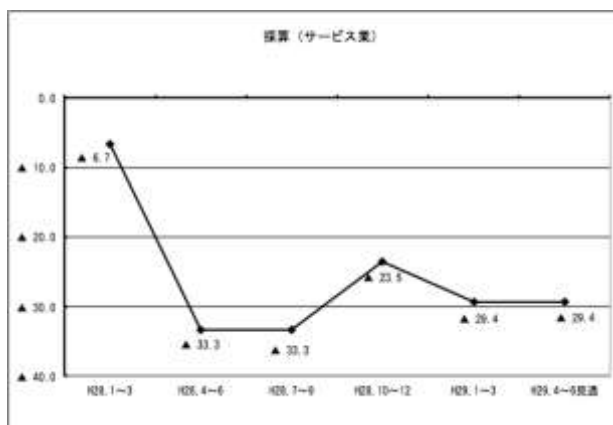
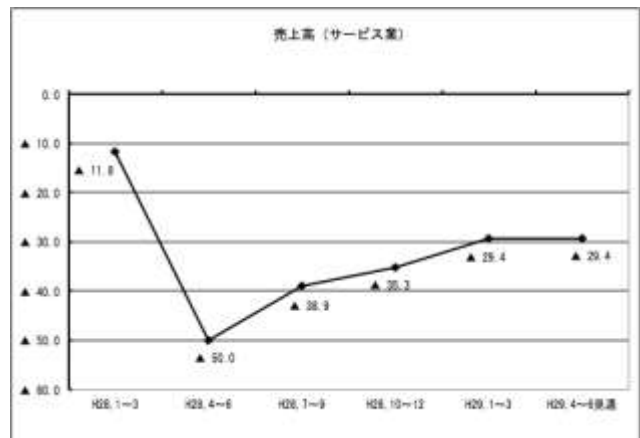
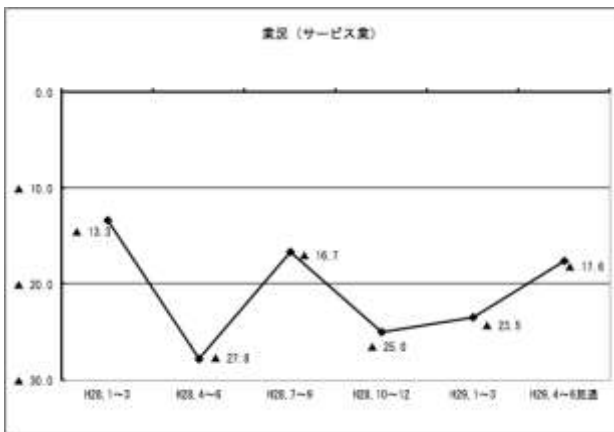
## サービス業

サービス業の業況DIは▲23.5で前回調査より1.5ポイント上昇した。前回調査で8.3ポイントの低下をした業況DIであるが今回は少しであるが上昇した。最近の5四半期は概ね近い数値になっており、マイナスの数値を言いながらも安定しているようである。4月～6月期見通しは▲17.6となっており、こちらも安定している。

売上高DIは▲29.4で前回調査より5.9ポイント上昇した。平成28年4月～6月期を底に3四半期連続で上昇している。1年前の平成28年1月～3月期の▲11.8までは届かないが着実に上昇基調を歩んである。4月～6月期も▲29.4となっており上昇基調が逆転していないと見ることができる。

採算DIは▲29.4で前回調査より5.9ポイント低下した。前回調査で回復したが今回調査では少し下げている。低位安定的な動きであるので、安心することはできないが、大きく下げているわけでもなく、この状態がしばらく続くようである。4月～6月期見通しも▲29.4と同数値である。

資金繰りDIは7.7で前回調査より7.7ポイント上昇した。2四半期連続で上昇している。プラスの数値になったことで資金繰りは少し余裕ができたと見ることができそうである。4月～6月期は0.0で少し下げる予想であるが、マイナスにはなっていない。





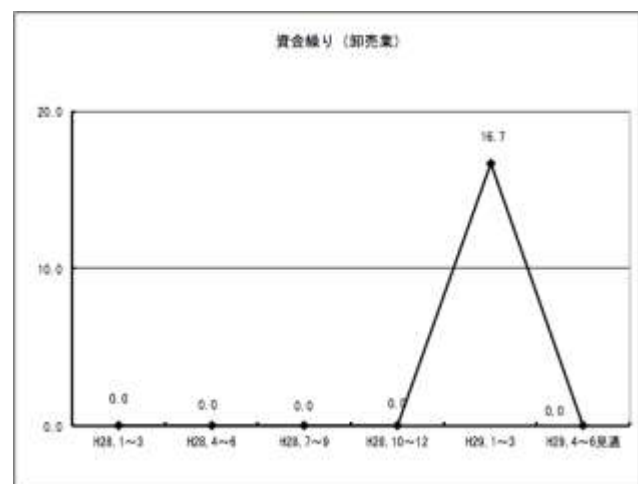
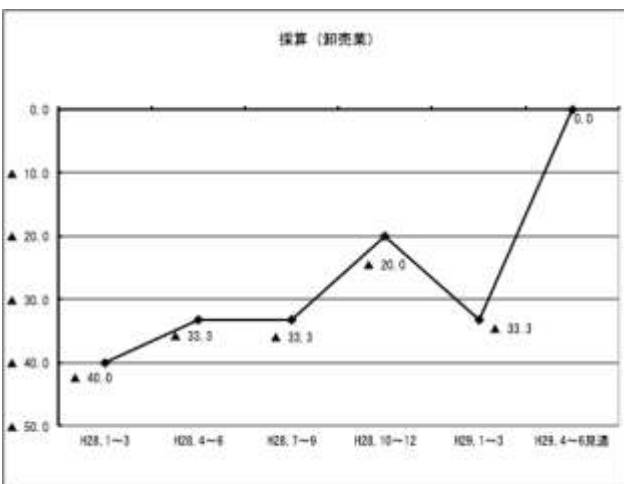
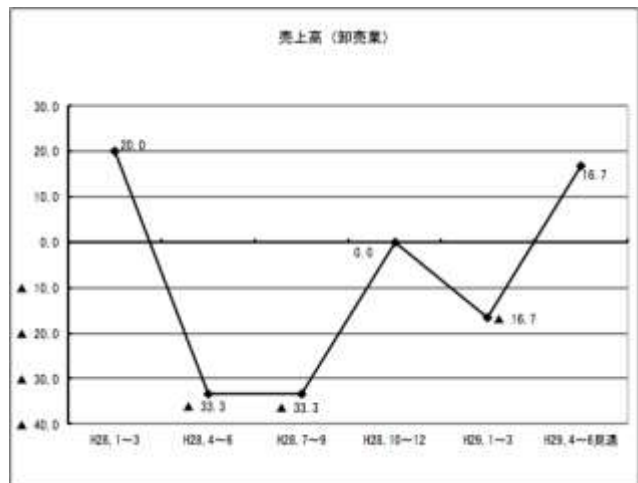
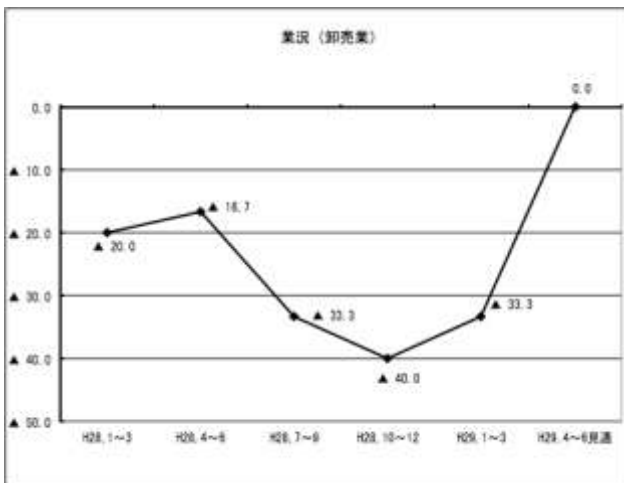
## 卸売業

卸売業の業況DIは▲33.3となり前回調査に比べて6.7ポイントの上昇である。2四半期続けて低下していた業況DIであったが今回調査では上昇になった。とはいうものの、平成28年7月～9月期の数値に戻っただけであるので安心はできない。4月～6月期見通しは0.0であるので、この見通し通りになることを期待するものである。

売上高DIは▲16.7で前回調査より16.7ポイント低下した。卸売業のDIは動きが激しくなりがちであるので、その中で16.7ポイントの変動は小さい部類に入るのかもしれない。4月～6月期見通しは16.7と33.4ポイントの上昇見通しとなっている。

採算DIは▲33.3で前回調査より13.3ポイント低下した。前回調査で▲20.0まで回復した採算DIであるが、今回調査では上昇したぶんだけ低下してしまった。数値だけを見ると採算が良くなっている気配は感じられない。しかし、4月～6月期見通しは0.0となっており、採算性がよくなるように予想されている。

DI資金繰りDIは16.7で前回調査より16.7ポイント上昇した。卸売業の資金繰りDIはほとんど動くことがなかったが、今回調査で16.7ポイントの上昇を見ることができた。資金繰りに余裕ができたということであろうか。4月～6月期見通しは0.0に戻っている。



## DI 指数一覧表

	昨年の同期との比較					
	業況		売上高		採算（経常利益）	
	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し
全 体	▲ 23.3	▲ 16.9	▲ 18.3	▲ 18.6	▲ 26.7	▲ 32.2
小売業	▲ 23.5	▲ 11.8	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 23.5
製造業	▲ 22.2	▲ 11.1	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 55.6
建設業	▲ 18.2	▲ 40.0	▲ 9.1	▲ 40.0	▲ 27.3	▲ 50.0
サービス業	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 29.4
卸売業	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	16.7	▲ 33.3	0.0

	該当期について				昨年の同期との比較	
	採算（経常利益）水準		取引の問い合わせ		従業員	
	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し
全 体	11.7	6.9	▲ 23.7	▲ 39.0	3.5	1.9
小売業	0.0	0.0	0.0	▲ 6.3	13.3	▲ 7.1
製造業	33.3	25.0	▲ 33.3	▲ 44.4	11.1	33.3
建設業	27.3	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 36.4	9.1	0.0
サービス業	5.9	5.9	▲ 47.1	▲ 41.2	▲ 12.5	▲ 13.3
卸売業	0.0	50.0	▲ 16.7	16.7	0.0	20.0

	3 カ月前との比較					
	資金繰り		長期借入れ難易度		短期借入れ難易度	
	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し	1～3 月期動向	4～6 月期見通し
全 体	0.0	▲ 7.3	4.1	0.0	8.7	0.0
小売業	▲ 5.9	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0	0.0
製造業	▲ 12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
建設業	0.0	▲ 30.0	0.0	▲ 11.1	10.0	▲ 11.1
サービス業	7.7	0.0	7.7	8.3	9.1	9.1
卸売業	16.7	0.0	16.7	0.0	20.0	16.7

## 過去からの動向

